

PRINT ZOOM

印刷マーケティング
情報誌

Vol. 2-No.
2008.3

48

制作・発行○株式会社日本印刷新聞社

広告変える“オモロい順”
ユーザーの望みを確実に満たす

「クチコミ」型情報提供を取り込もう
違いが大きい媒体選択



店頭ディスプレイ

印刷物としてポスター、POP、ディスプレイなどはもちろん、その店舗展開に関するすべてや、広告、販促商品、ノベルティーグッズの企画・開発そして印刷、キャンペーンまで手がける。これまでソニープラザなどいくつかの実績を得ることができた。

同社では今後も「顧客の望むものをどう形にしていけるか」にこだわり、常に新しい視点で事業拡大を続けたい、としている。

◆スクリーン印刷で幅広く展開、常に時代を先駆ける新製品・技術へ挑戦す



新興グランド社
宮坂次郎
専務取締役

新興グランド社は1948年創業、半世紀以上にわたりスクリーン印刷に携わってきた。現在はそうしたノウハウを活かして、印刷物に付加価値を与えるという機能的印刷物の開発に取り組んでいる。スクリーン印刷はもちろん、オリジナル商品や販促商品の企画製造、サイン制作・施工全般、またデジタルプリントまで、業際拡大を続けている。

点字印刷では、UV透明樹脂に立体印刷を施すことで下地に印刷

されている文字やマークを損なうことなく、両面印刷を実現。エンボス式の点字印刷に比べ耐久性が高く点字がつぶれたり汚れたりすることもないので、名刺などに採用している。

このほか商品に風合いを持たせ、ユニークさと質感を出す発泡印刷、ちぢみ印刷、エッチング。艶を出す厚盛印刷やスポットクリアといった光沢加工からラメ印刷までも展開。商品にゲーム性を持たせイベントなどの配布物に最適なスクラッチ、温度や湿度で色が変わる液体をカプセル化し、インキなどに混ぜて刷り込む感熱印刷。さらに香料印刷や蓄光印刷にも対応可能だ。こうした幅広い技術が大きな武器となりオリジナル販促商品の開発も手がける。コンセプトは「刷れるモノ」。クライアントの視点を大切に、リーズナブルな製品へこだわり、他社の優れた販促製品も取り扱う。エコロジー商品として薄型マウスパッド、ユニバーサルデザイン商品にはキーボードシールを扱っている。キーボードシールは表面にハードコート機能を施すことで耐久性を高めた。他には転写シートを使用したタトゥーシールを展開、顧客独自のオリジナルデザインへも対応している。今後はこうした印刷事業だけでなく、新たにメディア展開を計画している。現在、ケーブルテレビ向けCMの画像システムを開発中という。

◆1枚の紙にどれだけの付加価値が付けられるのか—フラッパーの紹介とその他の商品



美創印刷
村上一宏
代表取締役社長

美創印刷は化粧品パッケージか


らプロモーション用POP関連など商業印刷全般を扱うが、平面刷だけでなく3次元的構造を要する製品加工の技術力も強みである。現在はこれを活かし高付加価値商品を展開、価格ではなく訴求効果の面からアピールする。こうした流れからアメリカの特許製品「フラッパー」の日本国内における権利を得、導入展開を行うことで、紙に付加価値を持たせたユニークな販促物の開発へも取り組んでいる。

フラッパーは1枚のカードから次々にメッセージが飛び出してくるというユニークなカードだ。1面から4面へと開き、また1面に戻って繰り返し開いていく。製造には特殊技術を要するためコスト高な製品ではあるが、費用対効果も高い。

同社では、事例を元にフラッパーの導入効果を検証した。年齢別開き方サーチでは、9歳以下と10代から60代までのそれぞれの年代を対象に調査を実施し、9歳以下には作業が複雑、50代以上でも「作業が面倒」などの反応を確認。ターゲットとしては10代から40代が有効であることを確認している。日本国内の製品使用例では高校・大学の説明会案内や学習塾の宣伝用として実績があり、また自動車ディーラーの新車発表会でも大手企業に実績があり、食品・飲料の販促用品としての需要でも実績を挙げている。

フラッパーを販促用に採用することで、ある米国自動車ディーラーの例では返答率が3.2倍に上がり、来場者数も約28%アップした。また、日本の専門学校の説明会募集に採用した例では返答率が3.3倍へ、来場者数は約11%も向上している。こうした事例を取ってみても、高い訴求効果がねらえる商材といえるだろう。

このほかの展開として、カード



What is the ATO?
The ATO Agricultural Trade Office represents the Foreign Agricultural Service (FAS) of the United States Department of Agriculture (USDA) to provide U.S. agricultural exporters and export associations with marketing services to coordinate business relations with the Japanese food industry.

わたしたちATO(農産物貿易事務所)は米国農務省(FAS)海外農務局(USDA)を代表して、アメリカ農産物輸出企業及び輸出団体と日本の食品関連企業とのよりよい業務関係を構築するために必要なマーケティングサービスをご提供しております。

Research Based Marketing
Based on market research the ATO develops strategies to market U.S. agricultural products in Japan and then implements these strategies.

- Market research and reporting
市場分析と資料・情報のご提供
- Business matching
輸出企業、政府関係者との取組アシストやご紹介
- Briefings
アメリカ農産物輸出企業向け取組の概要説明 (11:21)

Trade and Public Relations

- Promotional Trade Activities
販促活動
- Website Communications
myfood.jp myfoodbusiness.jp

•Trade shows
•トレードショー
•Media Relations
•広報活動
•Risk Communications
•リスク管理情報

Trade shows
日本各地で開催されるアメリカ農産物展覧会

- Seminars
アメリカ農産物に関するさまざまなセミナーのご案内
- Websites
アメリカンフードの取組情報をウェブサイトから

www.myfood.jp

Marketing Services

The ATO provides U.S. agricultural exporters and export associations with research based marketing. We sponsor activities such as trade shows, buyers showcases, media relations, and website communication, to introduce U.S. agricultural exporters to Japanese retailers, food service and food processing companies.

- Market research and reporting
市場分析と資料・情報のご提供
- Business matching
輸出企業、政府関係者との取組アシストやご紹介
- Briefings
アメリカ農産物輸出企業向け取組の概要説明

Voices from the Industry

The ATO is a source of information and new ideas for U.S. exporters. It provides a platform for U.S. exporters to share their experiences and insights with Japanese retailers, food service and food processing companies.

The ATO is the connection between U.S. exporters and Japanese retailers, food service and food processing companies. The ATO provides a platform for U.S. exporters to share their experiences and insights with Japanese retailers, food service and food processing companies.

Contact Information

J.S. Embassy ATO Japan
1-10-1, Kojimachi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-8585, Japan
Phone: +81 3 3234 3113
Fax: +81 3 3234 3114
E-mail: ato@myfoodbusiness.jp

U.S. Consulate General Osaka Kobe
1-1-1, Naniwa, Minato-ku, Osaka 550-8501, Japan
Phone: +81 6 6515 5014
Fax: +81 6 6515 5015
E-mail: osakakobe@myfoodbusiness.jp

アメリカ農産物貿易事務所(ATO)日本支店
〒100-8585 東京都千代田区小千代1-10-1
TEL: +81 3 3234 3113
FAX: +81 3 3234 3114
Eメール: ato@myfoodbusiness.jp

アメリカ農産物貿易事務所(ATO)大阪神戸支店
〒550-8501 大阪府港区南瓦町1-1-1
TEL: +81 6 6515 5014
FAX: +81 6 6515 5015
Eメール: osakakobe@myfoodbusiness.jp

「フラッパー4つの絵柄を組み合わせる」

の両サイド上部を押し上げると中央からもう一枚のカードが飛び出しメッセージを伝える「ポップアップカード」、カードを引くとメッセージが飛び出す立体的な「スライドカード」、二つ折りのカードを開くと中面からより大きな紙面が規則正しい折りに沿って広がる「フォールディングマップ」、5角形の12枚のカードを組み立てると12面体、20枚で20面体など立体的な球体が出来上がる「クリッパー」などがある。またフラッパーを応用し「ビジネスカード・フラッパー」を開発、ユニークでインパクトある名刺としてアピールできる。同社は後もこれらの効果の出せる商材を武器に、これまで以上の事業を図る構えだ。

◆幅広い問題解決力で皆様のお役に立ちたい—製造設備を持った印刷業へ転身

田中産業営業部
熊耳祐希氏・樽井麻里氏

田中産業では、「幅広い問題解決能力で皆様の印刷業の皆様のお役に立ちたい」という理念の下、製造設備の充実を図り、製造に特化した事業展開をすすめる。ほか



熊耳氏 樽井氏

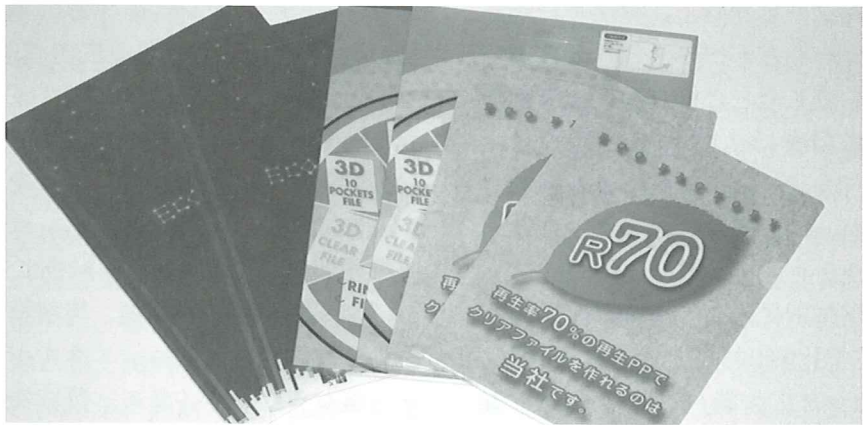
の印刷会社とコラボレーションし同社の設備を活用してもらうことで、市場の新規開拓や顧客サービス向上を目指す。

材料の開発・製造から印刷、後加工までを自社で一貫対応、特にB倍以上の大判印刷を得意としている点が同社の大きな特徴だ。ほかにも厚紙・特殊材オフセット、シルク・ラミネートに対応しており、近年はフィルム製造部門へ力を入れている。通常のPPフィルムに加え、「3Dレンズシート」、そして再生70%という「再生PP

シート」の開発にも成功、これはエコマーク認定を取得している。さらに後加工を施して製品パッケージやケースを生産しており、現在流通しているシャンプーや化粧品品のケースに採用され、多くの実績を上げている。

生産体制の構築に力を注ぐ同社ではあるが、その一方では働く人材の育成、すなわちサービスを行うスタッフが重要であるととらえる。そこで江戸しぐさの「気遣いの心」、長屋のはなしに習って、他社とのコラボレーションに取り組んでいる。

熊耳氏は、「今日ここにいる皆様はある意味で競争相手と言えるが、東印工組という同じ長屋の仲間でもある。最近クライアントからの要望も多岐に渡り、1社だけでの対応力では受注へ結びつけることが難しい。そうかと言って仕事を丸受けするために多くの協力会社をハンドリングするのは手間やリスクが発生する。そこで江戸しぐさではないが同じ仲間の田中産業へ声をかけてほしい。当社は御社のお手伝いをさせていただく。御社が印刷から製版までを行い、当社が加工・納品を行う。また逆の形も可能だ。とにかく当社の充実した設備という強みを利用していただき、お互い力を合わせてクライアントの多様な要求に応え、新しい仕事を獲得していきたいと考えている」と締めくくった。



再生PPシート